

3年 道徳通信

〇〇〇立〇〇〇中学校
3年 〇組担任 〇〇〇〇

◎「今日の道徳授業」の紹介

教材名 2「言葉おしみ」

ねらい： 作者が経験した、投げかける言葉と受け止める言葉のやりとりの場面を通して、社会生活の中で礼儀の意義や役割を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てます。

■教材の内容について

見知らぬ人とのさりげない触れ合いの中で交わされるあいさつの言葉によって、人の心やその場の雰囲気が変わってきます。3つのエピソードから、時と場に応じた適切な言葉遣いや行動について考えさせることができる教材です。

■生徒の実態について

中学生にもなると、礼儀の大切さについてある程度理解しているものの、十分に習慣化しているとはいえません。また、従来のしきたりや形に対する反発、照れる気持ちやその場の状況に左右されることなどによって、望ましい言動がとれないこともあります。現代の中学生が、礼儀は形と心が一致したとき望ましいものとなることを理解できるようにしたいです。

■ご家庭へ

自然で素直な挨拶によって互いの気持ちが明るくなり、社会生活が円滑になります。中学3年生にもなると、周囲との関わりを避けたがり、口数も少なくなってきました。そのことが、相手に不愉快な思いを与えたり、誤解を生む原因をつくったりする場合があります。ご家庭では、日常生活の中で、時と場に応じて適切な言葉遣いや行動が取れるような心情・態度を育てていただきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・キリトリセン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ご意見やご感想、家庭でお子さんと話題にしたことなどぜひお寄せください。()